

令和8年(2026年)度 年間授業計画(シラバス)									
学年	1	学科	全学科	単位	2	教科	国語	科目	現代の国語
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・標準 現代の国語(大修館書店) ・標準 現代の国語 学習課題集(大修館書店) ・リード現代文1(啓隆社) ・常用漢字ダブルクリア(尚文出版) 								
学習目標	(1) 国語で適切に読み取り、また、聞き取る力を要請し、適切かつ効果的に表現する能力を育成する。 (2) 実社会に必要な国語の知識や技能、論理的に考える力を身につける。 (3) 共感・想像する力を身につけ、表現することによって国語力の向上を目指す。 (4) 我が国の言語文化の担い手として、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。								
単元と学習内容									
1 学期	言葉を学ぶ 「言葉の中に生まれる」 「言葉と思考」 主張をとらえる 「水の東西」 効果的に伝える 「意見を書く」			<ul style="list-style-type: none"> ・人と言葉、社会と言葉との関係について書かれた文章を読み、言葉の学びに向かう姿勢をつくる。 ・人は言葉で社会をつくり言葉によって生きているということについて考える。 ・言葉の役割や働きについて考える。 ・叙述を的確にとらえる、具体と抽象を理解し、文章の要旨を的確にまとめる。 ・表記や表現の基本ルール、接続表現の種類や用法、比喩などの表現技法を理解する。 ・話し言葉と書き言葉の特徴、相手・目的・場面に応じた言葉遣い、より伝わりやすい表現方法を理解する。 					
2 学期	読書レポートの発表 効果的に伝える 「工夫して話す」 論理をとらえる 「自然と人間の間を通して考える」 資料を解釈する 「安くておいしい国の限界」 小説 「羅生門」(話して伝える・研究発表)			<ul style="list-style-type: none"> ・自分の読んだ本について読後の感想をまとめて発表する。 ・主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・演繹・帰納に着目して、文章の論理をとらえる。 ・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 ・自然描写が物語イメージに与える影響について理解する。 ・比喩表現の効果を考え、作者の糸を理解する。 ・必要な情報の探索方法、情報の信頼性や妥当性の吟味の方法を理解し、情報の探索や選択を実践する。 ・適切なデータや図表を作成を実践する。 					
3 学期	文章を比較する 「美しさの発見について」 「空気を読む」 「個人から分人へ」 資料を用いて発表する 「地域の魅力を紹介する」			<ul style="list-style-type: none"> ・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 ・自分の意見を大勢に分かりやすく伝えるスピーチの方法を考え、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する。 ・地域の魅力の紹介を通して、必要な情報や資料を収集したり整理したりして、分かりやすい紹介文を書くために活用する。 					
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック			
						1期末	2期末	学年末	
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な語彙力を身につけることができたか。 ・論理的な思考力や判断力、表現力を支える基本的な文法や語句の知識を正しく理解できたか。 				○	○	○	
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法が理解できたか。 ・自分の考えをまとめ、的確に論述したり話したりする方法を身につけられたか。 				○	○	○	
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動を通して我が国の言語文化の伝統に目を向け、自分自身の生活を振り返ることで、現代社会の様々な課題や要請に向き合う態度を育み、それらを言葉によつて的確に捉えようとしたか。 				○	○	○	
評価方法	①			②			③		
	㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨授業で用いたワークシートなど			㊦定期考査 ㊩学習活動の成果(作品など) ㊧小テスト ㊨授業で用いたワークシートなど			㊦活動観察 ㊩学習活動の成果(提出物、作品など) ㊨授業で用いたワークシートなど		